

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2021年05月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

最近の記事

(05/19) [医療従事者におけるコロナワクチンの効果](#)

(05/18) [新型コロナワクチンは毎年接種する必要があるのか?](#)

(05/14) [アメリカにおける新型コロナ・ワクチンの集団接種](#)

(05/11) [癌治療に関する新型コロナ・ワクチン接種のガイドライン](#)

(05/10) [モデルナとファイザーのワクチンにおける皮膚反応](#)

最近のコメント

[新型コロナワクチンは毎年接種する必要があるのか?](#) by (05/18)
[アメリカにおける新型コロナ・ワクチンの集団接種](#) by (05/17)
[癌治療に関する新型コロナ・ワクチン接種のガイドライン](#) by (05/14)
[癌治療に関する新型コロナ・ワクチン接種のガイドライン](#) by (05/14)
[モデルナとファイザーのワクチンにおける皮膚反応](#) by (05/14)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(197)
[循環器](#)(215)
[消化器・PPI](#)(137)
[感染症・衛生](#)(217)
[糖尿病](#)(118)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(92)
[インフルエンザ](#)(105)
[肝臓・肝炎](#)(61)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(47)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(43)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(30)
[ワクチン](#)(44)

<< [脳卒中発症後の体位について](#) | [TOP](#) | [潜在性甲状腺機能低下症](#) >>

2017年07月01日

過敏性腸症候群

過敏性腸症候群

n engl j med 376;26 nejm.org June 29, 2017



NEJMに総説が載っていました。私の概念を覆す内容が多々ありましたので、理解が不十分な点を顧みずまとめてみました。それにしてもアメリカ医療の疾患に対する真摯な態度には敬服します。

- 1) 色々なエビデンスで精神的要素よりも身体的な疾患概念が進んできた。
- 2) 症状は腹部膨満が主体であるが、慢性の経過をとり、少なくとも1週間に1回の症状出現が1か月続き、6か月の経過を有する。
- 3) 4タイプがある。
下痢型、便秘型、混合型、不全型
- 4) 一般的に実地医家は本疾患を色々な重大な器質的疾患(例えば、大腸癌、潰瘍性大腸炎などの炎症性疾患)を否定した後に辿り着くような疾患と考えているが、その様な消極的な診断方法でなく、積極的に診断できる疾患である。
- 5) 下痢型や混合型の466例を大腸ファイバーで検査した結果では癌は一例もなく、炎症性疾患(IBD)は2%以下であった。
この事から過敏性腸症候群を最初より積極的に診断するツールの方が、費用対効果の点からも優れている。
- 6) 色々な生化学的検査も有効の様ですが、日本では保険適用になっていませんので、省略いたします。
- 7) 症候群であり、色々な疾患が複合的に含まれている可能性がある。
- 8) 脳神経から腸の関連が一般的に言われているが、半数以上は逆に腸から脳神経に影響する事が判明してきた。
- 9) 感染性腸疾患の20%近くがその後の経過で過敏性腸症候群を併発する。
T細胞が関与しているようだ。
- 10) セロトニンやtumor-necrosis-factorなどのサイトカインも関与しており、これらが倦怠感などの症状と関連するかもしれない。
- 11) 遺伝子学的の病変として腸管のイオンチャンネルの異常も指摘されている。
- 12) 従来の治療では患者は満足していない。
新しい治療方針が出ており患者の層別化が必要の時代になった。
- 13) その他、キャンピロバクター感染症(本院でも多い食中毒の一つ)や、腸管スピロヘータ(性感染症のスピロヘータとは無関係です。)との関係も記載されており、私的には興味がありました。

私見)

- [癌関係](#)(10)
- [脂質異常](#)(28)
- [甲状腺・副甲状腺](#)(18)
- [婦人科](#)(8)
- [泌尿器・腎臓・前立腺](#)(37)
- [熱中症](#)(7)
- [日記](#)(19)
- [その他](#)(68)

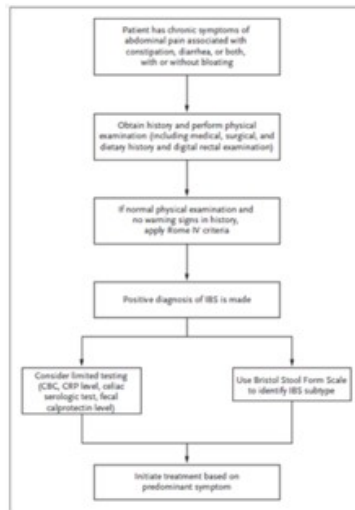
過去ログ

- [2021年05月](#)(11)
 - [2021年04月](#)(14)
 - [2021年03月](#)(18)
 - [2021年02月](#)(19)
 - [2021年01月](#)(16)
 - [2020年12月](#)(17)
 - [2020年11月](#)(15)
 - [2020年10月](#)(17)
 - [2020年09月](#)(19)
 - [2020年08月](#)(14)
 - [2020年07月](#)(17)
 - [2020年06月](#)(14)
 - [2020年05月](#)(21)
 - [2020年04月](#)(18)
 - [2020年03月](#)(18)
 - [2020年02月](#)(18)
 - [2020年01月](#)(19)
 - [2019年12月](#)(14)
 - [2019年11月](#)(15)
 - [2019年10月](#)(18)
 - [2019年09月](#)(18)
 - [2019年08月](#)(14)
 - [2019年07月](#)(14)
 - [2019年06月](#)(16)
 - [2019年05月](#)(14)
 - [2019年04月](#)(18)
 - [2019年03月](#)(19)
 - [2019年02月](#)(19)
 - [2019年01月](#)(15)
 - [2018年12月](#)(16)
 - [2018年11月](#)(20)
 - [2018年10月](#)(20)
 - [2018年09月](#)(18)
 - [2018年08月](#)(24)
 - [2018年07月](#)(18)
 - [2018年06月](#)(18)
 - [2018年05月](#)(20)
 - [2018年04月](#)(19)
 - [2018年03月](#)(20)
 - [2018年02月](#)(14)
 - [2018年01月](#)(14)
 - [2017年12月](#)(20)
 - [2017年11月](#)(17)
 - [2017年10月](#)(22)
 - [2017年09月](#)(18)
 - [2017年08月](#)(20)
 - [2017年07月](#)(23)
 - [2017年06月](#)(19)
 - [2017年05月](#)(19)
 - [2017年04月](#)(22)
- 以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

治療に関してはグラフをPDFにて掲載いたします。
 未だ日本で発売していないのもあり、今後に期待したいものです。
 尚、食事療法のFODMAPIに関しては良いネットがありましたので同時に掲載いたします。

Table 1. Rome IV Criteria for the Irritable Bowel Syndrome. ^a
Patient has recurrent abdominal pain (≥1 day per week, on average, in the previous 3 mo), with an onset ≥6 mo before diagnosis
Abdominal pain is associated with at least two of the following three symptoms:
Pain related to defecation
Change in frequency of stool
Change in form (appearance) of stool
Patient has none of the following warning signs:
Age ≥50 yr, no previous colon cancer screening, and presence of symptoms
Recent change in bowel habit
Evidence of overt GI bleeding (i.e., melena or hematochezia)
Nocturnal pain or passage of stools
Unintentional weight loss
Family history of colorectal cancer or inflammatory bowel disease
Palpable abdominal mass or lymphadenopathy
Evidence of iron-deficiency anemia on blood testing
Positive test for fecal occult blood



[治療.pdf](#)

[FODMAP.pdf](#)

0 | 0

いいね!

ブックマーク

【消化器・PPIの最新記事】

- [好酸球性胃腸炎](#)
- [結腸憩室炎のガイドライン・medscap..](#)
- [炎症性腸疾患の病態生理・その2](#)
- [炎症性腸疾患の病態生理・その1 院内予習..](#)
- [キウイフルーツは便秘に有効](#)

posted by 斎賀一 at 15:57 | [Comment\(0\)](#) | [消化器・PPI](#)

この記事へのコメント
コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

確認する

書き込む

